



ロダン美術館

Musée Rodin

François-Auguste-René Rodin

別冊 **PARIS** *Flâner dans Paris, France*
ぶらりパリ市内



ロダン美術館 Musée Rodin

ロダン美術館 (Rodin Museum in Paris) は、フランスのパリ7区にある美術館である。オーギュスト・ロダンの自己の作品及びロダンがコレクションした美術品を中心として所蔵している。美術館の建物は1908年から亡くなるまでの10年間、ロダンがアトリエとして使い、そして暮らした「ビロン邸」(Hotel Biron)である。1911年にフランス政府がビロン邸を買い取る事となったときに、この館を気に入っていたロダンが、自己の作品及びコレクションを国家に寄付するので、美術館として残して欲しいと提案した。ロダンの死後の1919年に開館した。別館として、パリ近郊のムードン(Meudon)に、ロダンがもう一つ、アトリエ兼自宅としていた館が美術館となっている。

(注釈は下記のwikipediaのロダン美術館(パリ)を引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

[http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_\(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_(パリ))

<http://www.musee-rodin.fr/>

http://en.wikipedia.org/wiki/Musée_Rodin

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オーギュスト・ロダン>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)

Musée Rodin, vue générale

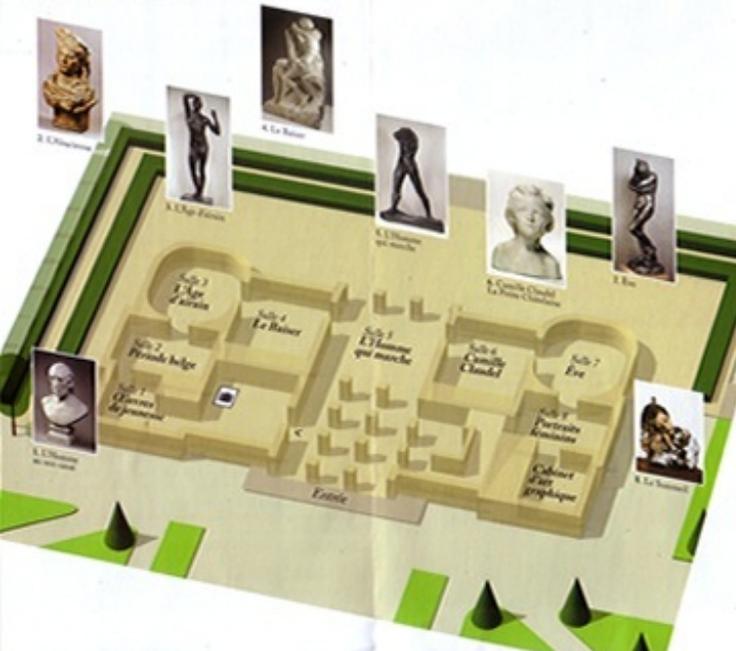
1. Le Penseur
2. Les Bourgeois de Calais
3. Adam
4. La Part de l'Enfer
5. Eve
6. Les Trois Oubliés
7. Cybèle
8. Caricature à la guerre
9. Étude pour la pierre de Wissant
10. Jean de France
11. Entrée de Saint Pierre
12. Andrieu d'Andrieu
13. Ophélie
14. Jacques de Wissant
15. Jean d'Arc
16. Monument à Victor Hugo
17. L'Oublié
18. Vierge
19. La Genèse des yeux mortel
20. Claude Lorraine
21. La Méditation
22. Caricature à l'armée
23. La Mass Whitaker
24. Buste-Lapage
25. Balzac



Les œuvres sont fragiles, ne touchez pas.
 Pour accéder à l'œuvre ou à l'œuvre présentée, de façon
 de regarder ou de faire dans les espaces d'exposition,
 de marcher sur les pavés et de regarder dans la galerie.
 Les photographes dans l'Hotel Biron sont autorisés sans frais
 en attendant dans les espaces d'exposition.



全館配置図



▲ 本館1F [Musée Rodin, Hôtel Biron 1F]



▲ 本館2F [Musée Rodin, Hôtel Biron 2F]





LE PENSEUR
DE RODIN OFFERT
PAR SOUSCRIPTION
PUBLIQUE AU PEUPLE
DE PARIS MCMVI

















「3つの影」
地獄の門の一番上にいるアダム像





ロダン美術館 Musée Rodin

ロダンはパリ在住の労働者階級の子として生まれ、10歳の頃から美術に興味を持ち、14歳の時に地元のプティット・エコールと呼ばれる工芸学校に入校し、その後エコール・ボザールに入学を志願したが拒絶され、室内装飾の職人として働きながら、24歳の時には生涯の妻となる裁縫職人のローズと知り合う。ベルギー滞在中に生活費を節約して貯蓄を続けていたロダンはローズを連れて、念願のイタリア旅行へと出かける。そこで目の当たりにしたドナテッロとミケランジェロの彫刻に衝撃を受け、多大な影響を両者から受ける事になり、早速にイタリア旅行で得た情熱を糧に10数年ぶりに彫刻「青銅時代」を製作する。この「青銅時代」はオーギュスト・ネイトと言う人物をモデルにした等身大の男性像で、極めて緻密でリアルな作品であり、あまりのリアルさのために「実際の人間から型を取ったのではないか」との疑いをかけられ、憤慨したロダンは2年後に人間よりもかなり大き目のサイズの彫刻を新たに作った。型を取ったのではなかったと解った審査員たちは、ロダンの彫刻に対して賞賛の言葉を送り、ロダンの名は一気にフランス中に広まった・・・

(注釈は下記のwikipediaのオーギュスト・ロダンを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オーギュスト・ロダン>

オーギュスト・ロダン | 青銅時代 | 収蔵作品 | 国立西洋美術館

<http://collection.nmwa.go.jp/S.1959-0002.html>

青銅時代 (但陽美術館)

http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:Tanyo_Shinkin_bank_Hall02bs2700.jpg

青銅時代 | コレクション | プリヂストン美術館

<http://www.bridgestone-museum.gr.jp/collection/works/125/>

(注意: PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





























写真はパノラマ合成

ロダン美術館 Musée Rodin

カミーユ・クローデル(Camille Claudel 1864年～1943年)・・・

1880年頃から国立美術館建設のモニュメント「地獄の門」の大作に取り組み始めた頃、19歳の教え子のカミーユ・クローデルと出会い、この若き才能と魅力に夢中になり、ついに愛人関係となる。時にロダン42歳。だが優柔不断なロダンは、カミーユと妻(当時は同棲)ローズの間で絶えず揺れながら、その後15年にわたって三角関係が続き、ロダンは2人の女性のどちらかを選ぶことが出来ず、ローズが病に倒れ、カミーユがローズと自分との選択を突付けた時、ローズのもとに逃げ帰ったロダン・・・

ショックを受けたカミーユは、精神のバランスを欠き、40代後半には精神病院に入院し、そのまま1943年に家族に看取られることなく78年の生涯を終えた・・・

カミーユは精神を病んだ後、多くの作品を破壊したが、そのうち約90の彫像、スケッチ、絵画が現存し、死後1951年ロダン美術館で彼女の作品の展示が行われ、現在ではロダン美術館にカミーユ・クローデルの部屋がもうけられている・・・

(注釈は下記のサイトを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/カミーユ・クローデル>

ロダンコレクションの、タンギー爺さん(仏: Le Pere Tanguy、英: Portrait of Pere Tanguy)は、1887年夏頃及び冬頃にオランダの画家、フィンセント・ファン・ゴッホによって描かれた油彩の絵画。ほぼ同構図の絵が2点存在する。この他にタンギーを描いた肖像画1点を含めて、タンギー爺さんは3点あると表記されることがある。1887年夏頃に描かれたとされる作品はオーギュスト・ロダンのコレクションとなり、現在はパリのロダン美術館に飾られている・・・

(注釈は下記のサイトを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/タンギー爺さん>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)













「ロダンの妻、若き日のローズ像」









カミーユ・クロードル：Camille Claudel作品の部屋









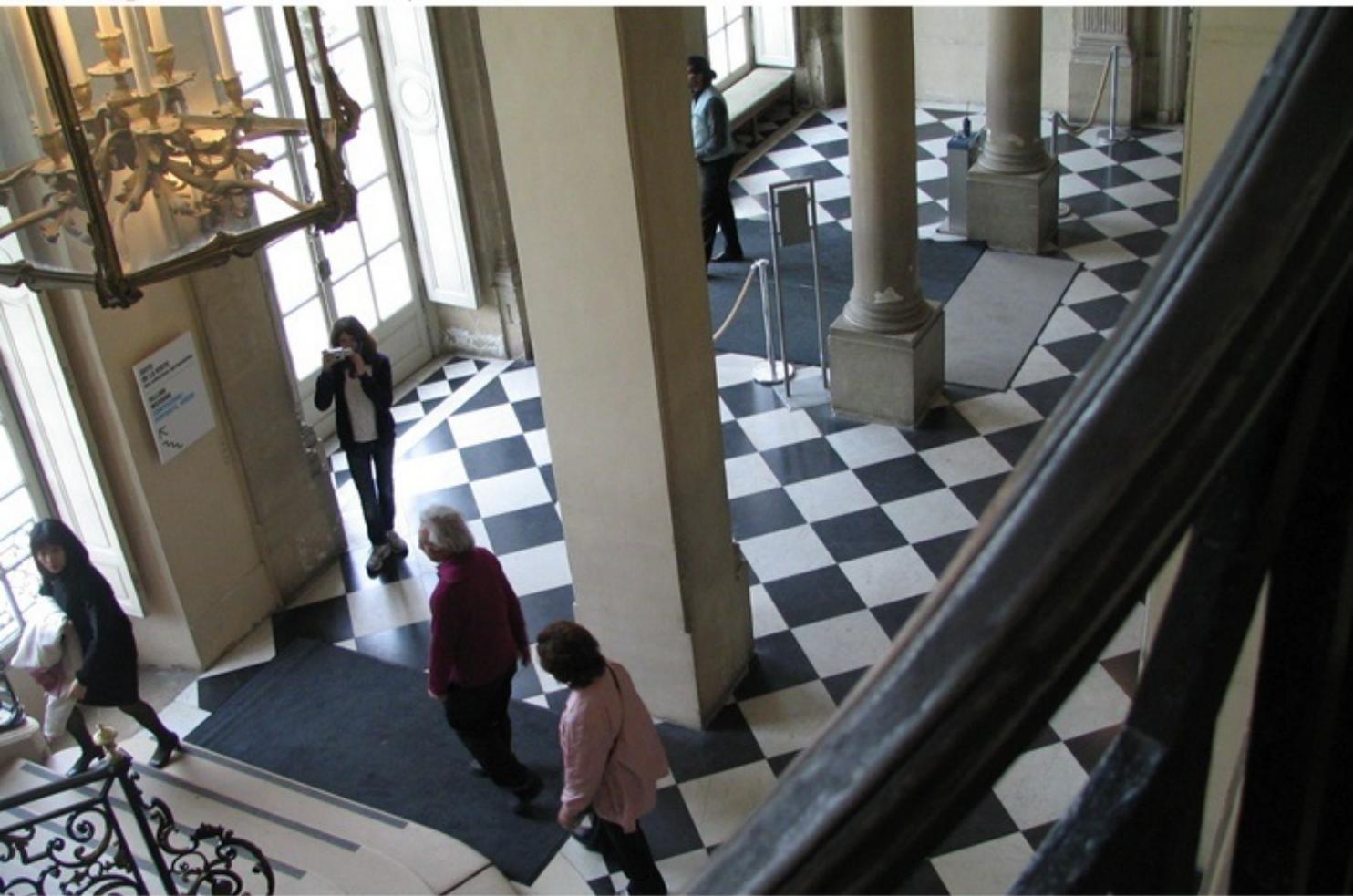


Auguste Rodin
The Burghers of Calais
1885-1886
Musée Rodin, Paris
Musée Rodin, Paris
Musée Rodin, Paris



PLAQUE INFORMATIF
Buste de Rodin, 1880-1882
C'est le buste de Rodin, 1880-1882
Musée Rodin, Paris









ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ロダン美術館 [Musée Rodin]
- 79 Rue de Varenne, 75007 Paris,
- メトロ 13号線 ヴァレヌヌ駅 (Varenne)下車



19世紀末から20世紀初頭のパリを舞台に、それまでの常識を覆すような作品を制作し“近代彫刻の父”と讃えられたオーギュスト・ロダン・・・

美術館はパリ7区セーヌ左岸、アンヴァリッドに隣接する閑静な一角にあります。ロココ様式の美しい建物は、かつての所有者の名にちなんで「ピロン館:Hotel Biron」と呼ばれ、ロダンが晩年の10年を過ごした場所。館内のほか、広大な庭園にもロダンの彫刻作品が置かれており、四季折々の自然と彫刻との競演で来館者を楽しませてくれます・・・

現在、ロダン美術館として使用されている建物は、1728年～1730年にかけて造られました。設計を手がけたのはシャンティイの大厩舎の建築で知られるジャン・オーベールで、ロココ芸術の粋を集めた建築を完成させました。その後、1753年フランス衛兵隊の総司令官ピロン将軍が館を手に入れ、1911年にフランス政府が買い取ることとなった時に、1908年から亡くなるまでの10年間、ロダンがアトリエとして使い、この館を気に入っていたロダンが、自己の作品及びコレクションを国家に寄付するので美術館として残して欲しいと提案し、ロダンの死後の1919年にロダン美術館として開館しました・・・

(注釈は下記のロダン美術館 [Musée Rodin]やwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0603/museum.html>

[http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_\(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_(パリ))

<http://www.musee-rodin.fr/>

http://en.wikipedia.org/wiki/Musée_Rodin

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オーギュスト・ロダン>

(ロダンの主な作品のサイト↓)

[http://ja.wikipedia.org/wiki/考える人_\(ロダン\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/考える人_(ロダン))

<http://ja.wikipedia.org/wiki/地獄の門>

[http://ja.wikipedia.org/wiki/接吻_\(ロダン\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/接吻_(ロダン))

<http://ja.wikipedia.org/wiki/カレーの市民>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)